

大雨・台風 自分で行う災害への備え

台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然にふせいだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。

台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の外の備え

※大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。

家の中の備え

- 非常用品の確認
 - ・懐中電灯 ・携帯用ラジオ(乾電池) ・救急薬品 ・衣類 ・非常用食品
 - ・携帯ボンベ式コンロ ・貴重品など
- 室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドを下ろしておく。

- 水の確保
断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

避難場所の確認など

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。

非常持ち出し品を用意しましょう。

「大雨が降り出した!」・「台風が接近している!」ときは…

- 気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」などに気をつけましょう!

台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときは、「台風情報」「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオから最新の情報を入手して下さい。

- 危険な場所に近づかない

- ・ 雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故が発生します。また、山崩れ・がけ崩れも 起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、これらの場所にはむやみに近づかないようにしましょう。
- ・ 危険を感じたり、市からの避難指示があった場合は、すぐにその指示に従えるよう準備し、あわてず速やかに避難しましょう。
- ・ 避難の際の持ち物は最小限にして、背中に背負うなど、とっさのとき両手が自由に使えるようにしておきましょう。また、指導者の指示に従って、慎重に行動しましょう。
- ・ 忘れ物をしたからといって、取りに戻るのには危険です。

- 避難の準備

・ 避難勧告が出てからあわてないように、避難場所までの道順や避難指示の伝達方法、隣近所との協力体制などについて、再度確認しましょう。

- 避難先では…

- ・ 勝手な判断や行動をせず、指導者の指示に従いましょう。
- ・ 引き続き「台風に関する情報」、「警報・注意報」などの情報に注意して、最新の情報を入手しましょう。

- 非常用品の点検

・ 非常用持ち出し品の点検をしましょう。

南但消防本部

《参考・資料提供》 気象庁